

交通事故で困ったとき、ご相談ください

# 交通事故相談所



「車社会」の中で生活している私たちにとって交通事故は、予期せぬと  
きに発生します。もし、交通事故に巻  
き込まれたらどうすればいいか、日  
頃から考えておく必要があります。  
損害賠償などさまざまなことにつ  
いて双方の主張がぐいちがっていた

り、無理難題を言われ  
たりする場合などは、経済的にも精  
神的にも大きな負担となることがあ  
ります。滋賀県ではそのようなこと  
でお困りの方に「交通事故相談」を  
実施しています。お気軽にご相談く  
ださい。

## 相談窓口

### ◆滋賀県立交通事故相談所

大津本所(県庁別館内)

大津市京町四丁目1番1号

☎077-528-3425

・窓口相談：月曜日から金曜日まで

・電話相談：月曜日から金曜日まで

彦根分室(湖東合同庁舎内)

彦根市元町4番1号

☎0749-127-2230

・窓口相談：火曜日・木曜日

・電話相談：月曜日から金曜日まで

## 相談時間

午前9時から午後4時まで

(土・日・祝日は休み)

相談は無料です。

### ◆問い合わせ先

住民課

生活環境交通担当

☎6578

有線⑤7784

## 綿向雑感

日野町長 藤澤直広

麦の穂が6月の風に静かにゆれていきます。緑に囲まれた熊野地区の棚田では稲の苗がすくすくと成長しています。5月9日「棚田ボランティア」には名古屋の家族連れ、京都の女子大生、熟年夫婦など約30名が参加。棚田は、漏水のないようにきれいに畦塗りがされ、田面は鏡の如く均平代掻き。見事です。

た歴史が刻まれています。米が生活や経済の中心であった時代、米価は社会に大きな影響を及ぼしました。1918年(大正7年)米騒動では内閣が退陣しています。その1918年スペイン風邪が大流行。日本では(流行性)感冒と呼ばれ、世界中で4000万人、日本で39万人が亡くなりました。我が家でも1か月の間に家族の内4人が死亡、一度に4人の葬式をだしたと聞いています。こうした悲劇を繰り返さないために万全を期さなければなりません。

「農の巧」の橋本さんの「苗は3本くらい、深植えはあかん」との指導を受け、イザ田圃へ。素足の人は、「あつ、冷たい」「いやあ、ヌルヌルするワ」と初めての感触を経験、やがて行儀よくお尻を並べ「なかなか真っ直ぐ植わらへんなあ」「蛭にかまれた」と言いながら後ずさり植えていきます。歩行型の田植機も体験して昼には完了。泥のついた顔が満足げにほころんでいました。みんなで協力して汗をかいて仕事することは素晴らしいこと。農作業は水利を含め集落の団結が必要です。棚田にはそうし

の生活部面について、社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上及び増進に努めなければならない」とあります。公衆衛生とは「公(おおやけ)の衆(ひとびとの)生(いのち)を衛(まもる)」という意味であり国の責務です。100年に一度の新型インフルエンザも経済危機も国や自治体の果たす役割は重要です。「市場経済に任せておけばいい」という「神話」が崩れた今、人々の暮らしや社会をしっかりと支える政治や行政に再構築することが必要だと思います。